

国際学術シンポジウム「東アジア共同知と近代東アジア社会の再構築」

主 催：神戸大学国際交流推進機構アジア総合学術センター〔神戸大学中国事務所〕
国立政治大学人文研究センター

日 時：2014年1月7日（火）

場 所：国立政治大学〔台湾〕社会科学資料中心 1階メインホール

趣旨

本シンポジウムにおいて、東アジア諸国・地域の専門家の知見を得て、東アジア地域において共有されてきた「知」が、近代東アジア社会の成立過程において、どのような基準で取捨選択されたかを検証する。さらに、「近代社会の構築」を中心とした東アジアの近代化プロセスにおける各問題を取りあげ、「東アジア共同知」と東アジアの「近代」及び「将来」との関係について議論する。

プログラム

午前の部				
8:40 - 9:10 受 付				
9:10 - 9:20 開 会				
趣旨説明 神戸大学中国事務所 所長 王 柯 挨 拶 国立政治大学 副学長 林 碧炤 神戸大学 理事・副学長 井上 典之				
	時 間	司 会	講演者	講演テーマ
講 演 1	9:20- 10:20	周 惠民 (国立政治大学 人文研究セン ター長)	濱下武志 (東京大学 名誉教授)	地域と知域の重層－20世紀知識人孫文にみる 知域像
10:20 - 10:50 休 憩				
講 演 2	10:50- 11:50	王 柯	黄 俊傑 (国立台湾大学 〔台湾〕人文社 会高等研究院 院長)	Thinking from East Asia: What, Why and How
11:50 - 13:00 昼 食				

午後の部				
セッション1, “伝統的国家と社会思想の批判と継承”				
時間	司会	報告者	報告テーマ	コメント
13:00- 13:20	王 柯	白 永瑞 (延世大学[韓国] 教授)	「中国的特色」の普遍主義の未来：儒学 と公共性を再考する	緒形 康 (神戸大学人 文学研究科 教授)
13:20- 13:40		陳 芳明 (国立政治大学 教授)	近代超克論の二つのパタン：日本と中国	廖 欽彬 (国立台湾師 範大学 助理 教授)
13:40 - 14:30 休憩				
セッション2, “東アジアにおける「近代」の受け入れと歴史の記憶”				
時間	司会	報告者	報告テーマ	コメント
14:30- 14:50	周 惠民	章 清 (復旦大学[中国] 教授) 王柯代読	清末中国における「アジア」論述によっ て引き継がれた「歴史記憶」一併せて他 者としての日本と朝鮮を論ず	林 碧炤
14:50- 15:10		周 頌倫 (東北師範大学 [中国] 教授)	「華夷變態」の三形態	王 柯
15:10- 15:30		緒形 康 (神戸大学人文学 研究科 教授)	文明と帝国ー中国の転型期における国 家アイデンティティー	周 頌倫
15:30- 16:30	周 惠民 王 柯	ディスカッション 濱下 武志、黄 俊傑、白 永瑞、周 頌倫、緒形 康		